



下瀬谷中だより

第 4 号

未来を創造する人を育てます

横浜市立下瀬谷中学校

地域とともに育つ、そして自分自身を見つめる

吉田 直好

少し前の話になりますが、夏休み期間中には、下瀬谷のまちの各地で地域の祭りをはじめとするさまざまな行事が行われ、多くの生徒が参加する姿を見ることができました。中には祭りの店を手伝うなど、それぞれの場で活躍する生徒たちの姿に接し、大変うれしく感じました。

学校の中では見られない生徒たちの一面に触れながら、改めて感じたことがあります。それは、子どもたちは学校だけで育つのではなく、家庭や地域を含めた多くの人々との関わりの中で成長しているということです。温かく声をかけ、見守り、時には励ましてくださる地域の皆様の存在があってこそ、生徒たちは安心して挑戦し、成長することができます。そしてまさに、下瀬谷のまちそのものが、生徒たちにとっての「ふるさと」であることを改めて実感しました。将来、生徒たちがどこで暮らすことになっても、この地域で過ごした日々や出会った人々とのつながりは、人生を支える大切な財産になるはずです。学校としても、保護者や地域の皆様と手を携えながら、生徒一人ひとりの健やかな成長を支えていきたいと考えています。そして、下瀬谷中学校もまた、生徒たちの心に残る「ふるさと」でありたいと願っています。

さて、前期の終了が近づいてきました。生徒の皆さんには、この機会に年度当初に立てた目標やめあてを振り返ってほしいと思います。目標をもつことは大切ですが、それと同じくらい大切なのが、ときおり自分の現在地を確かめることです。目指していたゴールに向かって今どこまで進めているのか。取り組んできた方法や手段は本当に適切だったのか。続けるべきことは何か、改善すべきことは何か。立ち止まって考える時間をもってほしいと思います。

時には、これまでのやり方を見直すことも必要です。また、状況の変化によっては目標そのものを修正することもあるでしょう。目標を見直すことは決して後退ではありません。よりよい自分に近づくために、自ら考え、判断し、行動を選択していくことこそが成長につながります。

前期の締めくくりにあたり、生徒一人ひとりがこれまでの歩みを見つめ直し、新たな気持ちで後期を迎え、次の一步を踏み出してくれることを期待しています。

保護者や地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。生徒たちは成長の過程で、時にはご心配をおかけしたり、ご迷惑をおかけしたりすることもあるかもしれませんが、そのような経験もまた、生徒たちが社会の中で学び、人との関わり方を身に付けながら成長していくための大切な機会であると考えています。今後とも学校・家庭・地域が同じ思いで手を携えながら、生徒たちの健全な育成にお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

